

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

豊富な建築実績による防災・災害・バリアフリー等に対応する高度な設計技術を活かし、持続可能な街づくりの実現や社会問題の解決に貢献し、安心安全な地域社会の実現に向けて地域と連携する企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	二酸化炭素排出量の削減	2023年実績から2026年まで二酸化炭素排出量2%削減
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	残業時間の削減	2023年実績から2026年まで残業時間5%削減
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	・躯体と設備の分離設計による強靱な建築物の設計 ・防災・災害に対応した設計	設計件数 2023年15件→2026年10件

<パートナーシップ>

・ながみね繁栄会との連携により、防犯カメラの設置・推進協力を行い、安心・安全な地域社会の実現を目指す。
・株式会社東横インとの連携により、ホテル建設地の雇用機会や経済発展への貢献を目指す。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	・二酸化炭素排出量の削減 社内のコスト管理により目標を達成することができた。	二酸化炭素排出量を2021年度より計測、排出量を削減する	2022年から1.26%減
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・残業時間の削減 毎週水曜をノー残業デーとしている。 社員1人1人の残業時間の管理が出来ておらず、意識改革が出来ていなかったため目標を達成出来なかった。	残業時間:5~10%削減	2022年から30%増
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	・躯体と設備の分離設計による強靱な建築物の設計 ・防災・災害に対応した設計 目標を達成できた。	設計件数:15件(年間)	2021年~2023年 36件

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。